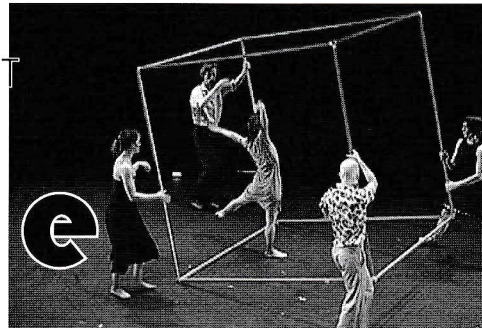


AMUSEMENT
SQUARE
stage



九十年代、ダンス・シーンはそのパラダイムを大きく変容させたとされている。「鑑賞する場」としての芸術から「思考の実験場」としての芸術へ。この十数年、ダンス・シーンに登場してきたアーティスト達の属性を強引に一括りにして語るという暴挙が許されるなら、それは「極端なローカリズムとグローバルイズムの共有」と言うことかもしれない。

「極端なローカリズム」。すなわち「その場に居合わせない限り、どんなパフォーマンスが行われたかを把握することは不可能な表現」。演劇的行為の本質である「一回性」を突き詰めて行くならば、結果表現される「作品」というより「出来事」が非翻訳性を帯びるのは事の必然なのだが、それ故にコンテンポラリー・ダンスが「難解だ」と言われ続けてきたのも事実。こればかりは実際に会場に足を運んでもらうしかない。しかし言葉や意味に頼らない表現ジャンルであればこそ、多く

演劇空間スペースベン

パイプラインプロジェクト presents

コンテンポラリーダンス・パフォーマンス

『IE/家〜10,000歩で綴る記憶』

〈文・五十嵐隆 (パイプライン・プロジェクト)〉

のアーティスト達が国境を越えて活動を展開していく事が可能だったのだ。

に暮らす人々との交流・共同作業の中から、その街でしか成立し得ないパフォーマンスを生み出していく。それが中馬の「リバース・サイコロジック・プロジェクト」である。このコンセプトのもと、これまで彼女はアメリカ、ポランド、アイルランド、エストニア等で作品を生み出し続けてきた。そしてこの夏、リバース・サイコロジックが日本に上陸。中馬のコンセプトと、盛岡に拠点を置いて活動するダンサー、高橋香澄らが組んで始動したのが今回の「パイプライン・プロジェクト」なのだ。

今回紹介する中馬芳子も、そんなローカリズムとグローバルイズムにこだわりながら活動を続けてきたアーティストだ。大阪出身の中馬は1978年に米国に移住し、80年にダンス・カンパニー「スクール・オブ・ハードノックス」をNYに創設、同カンパニーの芸術監督を務めている。以来、ジャンルを超えたアーティスト達との積極的なコラボレーションにより、84年・98年の二度にわたってNYのパフォーミングアーツ界で優れた作品に与えられるベシシー賞を受賞。また近年はアイルランドの「ダグダ・ダンスカンパニー」の芸術監督に就任するなど、その才能と姿勢に共感する世界中のアーティスト達と精力的に共同作業を行っている。現在、世界で活躍する最も意欲的な日本人コレオグラファーの一人としての評価を受けている一人なのだ。

中馬が拘り続けるのは、その地域に生きる人々の文化的アイデンティティと、個人・集団の記憶。公演各地に一定期間滞在し、そこ

に暮らす人々との交流・共同作業の中から、その街でしか成立し得ないパフォーマンスを生み出していく。それが中馬の「リバース・サイコロジック・プロジェクト」である。このコンセプトのもと、これまで彼女はアメリカ、ポランド、アイルランド、エストニア等で作品を生み出し続けてきた。そしてこの夏、リバース・サイコロジックが日本に上陸。中馬のコンセプトと、盛岡に拠点を置いて活動するダンサー、高橋香澄らが組んで始動したのが今回の「パイプライン・プロジェクト」なのだ。

「家」、「記憶」をテーマに展開する今回のパフォーマンスのメイキングは二ヶ所。明治19年に建てられた盛岡市指定建造物である「南昌荘」、そして現代建築の「プラザおでって」。過去と現代を行き来しつつ、国内外のダンサー・スタッフが磨かれたパフォーマンスを見せる。出演アーティストは、ジェイコブ・パークハード (ビデオアーティスト/アメリカ)、エレナ・ジャンネッティ (ダンサー/イタリア)、オールウェン・グリンズレイ (ダンサー/アイルランド)、それに池田素子、伊勢花子、

7月のFriday Amusement Negative Shop

※全て午後7時30分～、料金500円
チケットはスペースベンにて販売

■7月4日 (491回)
プラスワンシアター特別版
自主映画 上映会「冷蔵庫」
(AIR2003出品作品)
監督/安達良春
出演/佐々木鮎子、安達良春

■7月11日 (492回)
シバミカラオケ
ボックス化計画

■7月18日 (493回)
未定

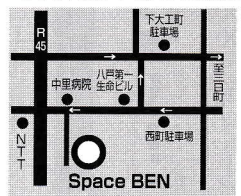
■7月25日 (494回)
未定

※スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい。

※スペースベンでは、毎週月曜日午後7時30分から、沼尾美也子さんによりジャズダンスレッスンを開催しています。一度見学にいらして下さい。

FANSでは、脚本を広く募集しています。何か表現したくても踏み出せていないあなた、一度「物語」を書いてみませんか? FANSでは、そんな方の思いを大切にして舞台にのせてみたいと思っております。

スペースベンHPアドレス <http://spaceben.com/>
Eメールアドレス fans@spaceben.com



■パイプライン・プロジェクト
IE 家〜10,000歩で綴る記憶

【とき】
7月25日 (金) 開演: 18時30分～
7月26日 (土) 開演: 13時～18時～

【ところ】
盛岡市・南昌荘 (第一会場)
プラザおでって (第二会場)

【チケット】
前売: 3,000円
当日: 3,500円

【問い合わせ先】
☎090-2276-1507
(パイプライン・プロジェクト、五十嵐)

新幹線の八戸乗り入れによって、盛岡までわずか三十分。暑い夏の日、ちよつと盛岡まで足を伸ばしてこの出来事を「体験する」価値は十分にアリアマスヨ! おん でやんせ盛岡!

樋口信子、三浦宏之、斉藤栄治、高橋香澄ら日本のダンサー達。さらに、盛岡という街の記憶と遺産を受け継いだ市民参加のパフォーマー50名が参加。盛岡でしか成立し得ないパフォーマンスを生み出していく。